



共通第11号様式 (第17条第1項)

令和5年度補助事業等実績報告書

令和5年9月14日

函館市長 大 泉 潤 様

〒040-0035

住所 函館市松風町10番2号

申請者

団体名 函館日韓交流会

代表者氏名 申 東煥

補助事業等の名称 日韓科学交流事業

令和5年7月25日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和5年8月27日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 56,000円

補助金等領収済額 金 56,000円

補助金等領収未済額 金 0円

補助事業等の計画—（実績）書

名 称	日韓科学交流事業
開 催 期 日	令和5年8月22日～令和5年8月27日
開 催 場 所	函館市亀田交流プラザ、函館山、公立はこだて未来大学、 函館市国際水産・海洋総合研究センター シエスタハコダテ（はこだて国際科学祭開催地）など
主催者，共催者 および後援者等	主催 函館日韓交流会 共催 株式会社函館研究所
参 加 人 員	・韓国側24名：東亜サイエンス教育企画研究所3名 地球愛探査隊参加親子21名 △1 ・日本側27名：函館日韓交流会3名 はこだて国際科学祭参加親子14名 △6 函館山植物探査3名 △3 その他7名 △3 ----- うち外国人参加人数 24名
補 助 事 業 等 の 内 容	・はこだて国際科学祭に参加し、同研究所が開発した教材を使い、日韓の子供達（16名）向けの科学教室を行った。 ・函館山の植物を中心とした自然探査を行った。 ・海洋センターで水産・海洋都市函館について学び、海藻学と魚の解剖実習を行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	・コロナで途絶えた日韓の交流を促進した。 ・科学祭に参加し、函館市民の科学活動を知って貰った。 ・韓国の科学教室プログラムを紹介し、函館の子供達と韓国の子供達との交流を深めた。 ・今回の活動様子を「子供科学東亜」に掲載することで函館のPRに繋がった。 ・毎年、函館で行う海外キャンプのプログラムが整えた。
備 考	<子供科学東亜> 東亜サイエンスの子供向けの科学雑誌で月2回発行。 この雑誌では「子供科学東亜記者団約25,000人」と市民参加科学プロジェクト「地球愛探査隊年間約3,500人」を運営中。 []は元編集長であり、プロジェクト企画者である。 通常、[]として、科学教室を開催している。 今回、地球愛探査隊の親子21名と共にはこだて国際科学祭参加及び函館キャンプを開いた。

- （注） 1. この様式は，大会等の開催その他これに類する事業等に係る補助金等の実績報告をする場合に使用すること。
2. 補助事業等の内容は，詳細に記載すること。（別紙も可）
3. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業等の収支予算（決算）書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	33,000	33,000	31,312	31,312	△1,688	△1,688	
協賛金	80,000	80,000	85,000	85,000	5,000	5,000	
函館市補助金	56,000	56,000	56,000	56,000	0	0	
負担金	0	0	0	0	0	0	
合 計	169,000	169,000	172,312	172,312	3,312	3,312	

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
報償費	69,000	69,000	72,512	72,512	△3,512	△3,512	
交通費	60,000	60,000	55,800	55,800	4,200	4,200	
会場使用料	4,000	4,000	5,000	5,000	△1,000	△1,000	
事務経費	36,000	36,000	39,000	39,000	△3,000	△3,000	
その他	0	0	0	0	0	0	
合 計	169,000	169,000	172,312	172,312	△3,312	△3,312	

収支差引額 0 円

- （注）
1. この様式は，補助金等に係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は，詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は，「円」とすること。
 4. 内訳には，金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
自己資金	31,312	31,312		
協賛金	85,000	85,000		株式会社函館研究所
函館市補助金	56,000	56,000		
負担金	0	0		
合 計	172,312	172,312		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち 補助対象事業		
報償費	72,512	72,512	講師謝礼 27,500 円 通訳謝礼 3,300 円×5 日=16,500 円 記念品 1,188 円×24 個=28,512 円	添付①-a 添付② 添付③ + 7,512 円 支払 188 円×24 個減
交通費	55,800	55,800	8 月 22 日～24 日レンタカー代 19,800 円 ガソリン代 1,653 円 8 月 24 日～27 日レンタカー代 30,690 円 ガソリン代 3,657 円	添付①-b 添付①-c 添付①-d A 4,200 円 添付①-e
会場使用料	5,000	5,000	函館市亀田交流プラザ 800 円 函館市国際水産・海洋総合研究センター 4,200 円	添付①-f 添付①-g + 1,000 円 3300 円減 → 4200 円
事務経費	39,000	39,000	教材 1,500 円×26 個=39,000 円	添付④ + 3,000 円 教材 10 冊 2700 円
その他	0	0		
合 計	172,312	172,312	／	

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。